

第27回

うつのみやこども賞だより

平成22年度 第1回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

蓮の奥出雲戦記

『ヤマタノオロチ復活』

廣田衣世／作 照世／絵 (岩崎書店)



～読んだ本の感想より～

●蓮とアキヒコが協力してヤマタノオロチをたおしていった場面が心に残りました。

●8つのみたまがなくなった時はドキドキした。神様のこともよく書いてあり良かった。

●ヤマタノオロチは架空の生き物かと思っていたけど、ごく普通にかくれているような気がしてちょっと怖かったです。

●アキヒコと蓮のきずながすごかった。

●とてもワクワクして、まるで自分も一緒に冒険しているような気持ちになった。

●すごく身近なところに目的があってわかりやすかった。

●ヤマタノオロチのみたまはすごくきれいなと思いました。

●本当にヤマタノオロチが復活してしまったらどうしようと心配になった。

●黄泉の国からきた人と現実の人が協力するところがよかった。

『卒業の歌』 本田有明／作 (PHP研究所)

●6年3組がコンクールで自分たちで作った曲を歌えてよかったと思います。

●協力することの大切さがわかった。

●「卒業の歌は出会いの歌」の歌詞が面白かったです。

●歌でクラスが1つになっていく様子が、小さなことでも仲間がしてくれると感じ取れたのでよかった。

●みんなで合唱コンクールに出られて喜んでいる感じが、頭の中で想像できてよかった。

●バラバラでいつもピリになってしまう3組だけど、歌を作って、みんなで練習して、賞がもらえたところがよかった。

『つづきの図書館』 柏葉幸子／作 (講談社)

●次から次へとおこる問題を解決した桃さん。とても感動できたラストシーンでした。

●王様が面白かった。

●私も読んでいる本の登場人物に会って、話をしたり、遊んだりしたくなりました。

●本を探すのではなく、人を探すのが面白いなと思いました。

●見知らぬ人の言うことを聞いてくれるなんて、桃さんはとてもやさしい人だと思いました。

●私もその場所に行ったみたいで、とてもワクワクしました。

●王様たちの出てくる所、やる事など全部が面白かった。最後の場面が切なくて感動した。

『ぼくの夏休み革命』 つちもととしえ／作 (国土社)

●みんなががんばってかたづけて、大切な思い出のつまったアルバムがみつかったよかったと思った。

●誠也としょうで、瀬田さんというおじさんの友達のためにいっばいがんばるところがいいです。

●誠也たちの働きぶりを見て大掃除をしたくなってきた。

●誠也が瀬田さんを思う心にとっても感動しました。

●誠也が、最初は嫌いだった瀬田さんを、いろいろな出来事があったて、友達だと思っていくところが心に残った。

●主人公がどんどんたくましくなっていくところが面白かった。